

Interview

過去の創業スクールに参加をした二組の先輩創業者にお話を伺いました。創業して、「苦労している点」や「支援で役立ったこと」、「今後の展開」など、先輩達のストーリーは、創業をお考えの皆様にとって様々な気付きとなるでしょう。



食事の力で笑顔あふれる毎日を

ヒトデ食堂 浅尾 大輔さん

ヒトデ食堂は、ハワイアンランチを提供する小さなお店。コンセプトは「食事の力で笑顔あふれる毎日を」。キッチンカーを経験し、「好きを仕事にしたい」と思ったことが、出店のきっかけに。喫茶店巡りが趣味で、食へのこだわりが感じられるお店です。

支援で役立ったこと 「創業スクールの仲間と、今でも相談しあえる関係です」。そう語る浅尾さんは、商工会の創業支援にとっても感謝されています。POPやチラシの作り方、補助金申請の手順など、実践的なアドバイスが豊富で、キッチンカーやコラボキッチンも、商工会とのつながりがあったからこそ実現できたとのこと。制度利用だけでなく、「相談できる人がいる安心感」が大きな支えになっています。

経営で気を付けている点 原価率や売上などの数字は日々チェック。ドリンクの価格設定では迷った末に、利益率とのバランスを見て現実的な価格に。「安くしすぎると続かない。でも、ちゃんと喜んでもらえる価値は届けたい」との想いで工夫しています。

苦労している点 「天候に売上が左右されることもあるけど、工夫でリカバリーできたときの達成感は大きい」と話します。

地域との関わり 公園を訪れる親子連れの「おいしい」や小学生の喜ぶ姿を見るとうれしい、と話す浅尾さん。隣接施設に料理を届けるなど、協力関係を築いている。商工会青年部にも所属。「青年部の集まりは、情報交換や、背中を押してもらう機会にもなっています」。

今後の展開 夏は、かき氷やスムージー、冬はロールケーキなど、季節メニューでワクワクを届けたいとのこと。将来的には、地域ネットワークを活かして実店舗の開業も目指しています。

ヒトデ食堂

2025 年春より第一運動公園内
体験学習施設スマイル カフェちょこっとに出店
問合せ 090-9004-9703



痛みの先にある生活の質向上を

たかはし鍼灸院・接骨院 高橋 大樹さん
高橋 郁子さん

2025年6月に開業した「たかはし 鍼灸院・接骨院」は、「痛みの先にある生活の質向上」を常に意識し、痛みの治療だけでなく「体の使い方」にも着目した治療ステーション。施術スペースの隣には運動ゾーンを設け、来院者の生活や仕事、スポーツでの動きをよりスムーズにするための運動療法も提供しています。

支援で役立ったこと 創業スクールでの学びが開業準備の大きな助けになったといいます。創業計画書や補助金申請書の作成に苦戦する中、「言葉にして形にする」ことの難しさに直面。相談のたびに的確なフィードバックをもらい、練り直す…その繰り返しで成長につながりました。融資相談や朝市出店など、幅広いサポートを活用しています。

経営で気を付けている点 まだ認知が高くない中、一人ひとりの丁寧な対応を大切に。年代や症状に合わせて言葉を選び、体の状態やセルフケアの方法も分かりやすく説明しています。

苦労している点 「思いを言葉にするのが本当に大変でした」。ホームページやパンフレットの文言、補助金の申請書…。鍼灸師の奥様と話し合いながら一つひとつ言葉を選び抜いたそうです。

地域との関わり 息子さんの影響で、地元の少年サッカーチームでコーチを務め、子どもたちに体の正しい使い方を指導。「みんながリレーの選手になれるように」との言葉に、地域貢献への強い思いがにじみます。

今後の展開 大きく広げるよりも、「家族で営む安心感」を大切に、地域の家族の健康を支える拠点にしたいとのこと。来てくれたお父さんがきっかけで、母・子どもへと広がっていくそんな信頼の連鎖を目指しています。

たかはし鍼灸院・接骨院

逗子市沼間 1-5-5
問合せ 046-894-2561

